

# がまこおり 議会 だより

## 1 月市議会臨時会・3 月市議会定例会

一般質問…ここが論点……………	2～ 7
議決された主な議案……………	8～ 11
令和3年度一般会計予算312億1,100万円 議会日誌、5月臨時会・6月定例会予定等…	12

NO. 111  
2021.5



「南海トラフ地震臨時情報」を知り、命を守る備えを！



# 一般質問…ここが論点

3月市議会定例会中、3月5日、8日、9日の3日間で、4人の議員が会派を代表して質問し、13人の議員が個人質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、3月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、蒲郡市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも6月上旬の予定です。

また、インターネット上でライブ中継と録画中継も実施していますので蒲郡市議会ホームページからご覧ください。

## ■ 各会派代表質問

日程	会派名及び議員名	主な質問の項目
3月5日(金)	自由民主党蒲郡市議団 代表 大場 康 議	<a href="#">新型コロナウイルスワクチン接種計画</a> <a href="#">予算大綱</a>
	蒲郡自由クラブ 代表 稲 吉 郭 哲	<a href="#">予算大綱</a>
	公明党蒲郡市議団 代表 松 本 昌 成	<a href="#">市政運営</a>
	蒲郡市政クラブ 代表 新 実 祥 悟	<a href="#">予算大綱</a>

## ■ 個人質問

日程	議員名	主な質問の項目
3月5日(金)	尾 崎 広 道	<a href="#">市民病院等の外来受付時の対応</a> <a href="#">狹隘道路</a> <a href="#">BCP</a>
	鈴 木 将 浩	<a href="#">まちづくりにおけるeスポーツの活用</a>
3月8日(月)	鎌 田 篤 司	<a href="#">コロナ禍における市民病院の経営</a> <a href="#">生命の海科学館</a> <a href="#">モーターボート競走事業</a>
	喚 田 孝 博	<a href="#">蒲郡駅北地区の再開発</a> <a href="#">特別支援教育</a>
	柴 田 安 彦	小中学校規模適正化方針と公共施設マネジメント <a href="#">区画整理事業</a>
	鈴 木 貴 晶	<a href="#">市民病院の看護師確保と定着促進</a> <a href="#">給食</a> 婚活事業
	鈴 木 基 夫	<a href="#">先端医療都市構想</a>
3月9日(火)	牧 野 泰 広	<a href="#">サーキュラーシティ構想</a>
	青 山 義 明	<a href="#">企業用地</a> <a href="#">蒲郡緑地</a> <a href="#">災害時拠点</a>
	日 恵 野 佳 代	<a href="#">コロナ禍で市民の暮らしを支援するために</a> <a href="#">保育園・小中学校・公民館の統廃合</a> 女性差別をなくし、ジェンダー平等の蒲郡への取組
	藤 田 裕 喜	<a href="#">スマートフォンなどのデジタル機器と子育てをめぐって</a>
	大 須 賀 林	<a href="#">水道事業</a> <a href="#">カーボンニュートラル推進に係る市の取組</a> 名鉄西尾・蒲郡線の今後の見通し
竹 内 滋 泰	<a href="#">新型コロナウイルス感染症対策の検証と今後の方向性</a>	

※[下線付の項目](#)は次ページより質問と答弁の要旨を掲載しています。

自由民主党蒲郡市議団  
代表 大場 康 議

新型コロナウイルス  
ワクチン接種計画について

**問** 個別接種・集団接種の接種計画について伺う。

**答** 現時点では、個別接種は市医師会への調査の結果、市内32か所の医療機関が接種可能な意向である。集団接種は、市民病院で平日毎日、保健医療センターで土日祝日いずれかでの接種を検討している。個別接種と集団接種の割合は8対2ぐらいと考える。

市民病院の安定経営  
について

**問** 令和3年度の医師の確保について伺う。

**答** 医師数は研修医13名を含め常勤医63名体制を見込む。新たに3年間の名古屋市立大学との寄附講座締結を予定しており、引き続き大学教員の身分を持った医師が数名派遣される。



患者さんに対して、最善の医療を行う市民病院

**問** 新棟建設の考え方について伺う。

**答** 寄附講座締結以降、経営状況、医療環境は大きく変化し、病院の役割と課題も増えている。3年度予算で建設後の経営分析、事業規模等を専門的に分析、提案する調査費用を計上し、調査で安定経営が見込まれた場合、基本設計、実施設計へ準備を進めていきたい。

東港地区のまちづくりの  
考えについて

**問** 埋立地の市街化調整区域の土地を市街化区域に編入する考え及び編入にあたっての行政の取組は。

**答** 編入により民間施設等の立地可能性も検討しながら、まちづくりに生かしていきたいと考えている。三河港港湾計画の4年度改訂に向け、竹島ベイパークから竹島ふ頭周辺が交流厚生用地として見直されるよう県との調整、5年度に都市計画マスタープランへの位置づけ、実現性のある土地利用計画の策定等により編入を進めていきたい。

蒲郡自由クラブ  
代表 稲吉 郭 哲

地震防災・風水害対策の  
拡充について

**問** 災害からの逃げ遅れをゼロにする取組をどのように行っていくか伺う。



**答** 市民一人一人が避難情報等を正しく理解し、避難行動に移すことが重要である。防災行政無線・防災ラジオは有効な情報伝達手段であり、デジタル防災ラジオの普及に併せて、屋外拡声子局もデジタル化を進め、防災情報を正確に伝達する体制づくりを進める。

地球温暖化対策の推進  
について

**問** ゼロカーボンシティを宣言したが、どのように取り組むのか伺う。

**答** 宣言を契機に、これまで以上に市民と一体となり、カーボンニュートラルを推進し、脱炭素社会の実現に向け取り組んでいく。

公明党蒲郡市議団  
代表 松本 昌 成

新型コロナウイルス  
感染症対策について

**問** ワクチンの接種でアナフィラキシーショックが起きたときの対応方法は。



**答** 接種会場に救急対応ができる薬品等を備える。接種後15分から30分は待機、経過観察を行い、症状発生時は医師が処置を行う。また、重篤な場合等の状況により病院へ救急搬送する。

**問** 患者の市民病院の病床確保について伺う。

**答** 年末年始以降の感染拡大のピークを迎え、県や保健所の病床拡充要請を受け、最大時には19床での運用を申し出ている。

学校教育について

**問** スクールソーシャルワーカー設置の考えは。

**答** 心の問題とともに家庭環境等複雑な背景を抱える子供の問題解決へ支援を行うため、要保護児童対策地域協議会実務者会議を月1回行い、対応を協議し、個別対応が必要な場合、ケース会議も行っており、十分機能している。設置は必要性も含め、検討している。

### 新たな子育て支援事業について

**問** 一般不妊治療助成事業の拡充内容は。

**答** 県の補助制度改正に伴い、夫婦合算の所得制限を撤廃し、戸籍上の夫婦に加え、事実上婚姻状態の男女も対象となった。

### 市民病院の安定経営について

**問** 令和3年度からの名古屋市立大学との寄附講座の主な内容と目的は。

**答** 当初の研究項目を継続しつつ、予防医療から急性期医療、在宅医療までつなげる新しい形の公共医療の在り方の研究を行う

いきたい。また、大学病院と遜色のない人材育成と電子カルテシステム更新に併せ、医療情報活用とカルテデータの2次活用の研究促進も図りたい。

### 環境対策の推進について

**問** ゼロカーボンシティの実現に向けてどのように取組を推進していくのか。

**答** 公共施設の太陽光発電導入、照明LED化、公用車への電気自動車導入等、率先して地球温暖化対策に取り組む。拡充する電動アシスト自転車購入費補助金等により、市民の取組



を支援し、市民、事業者が一体で進めていく。

### 効率的な行財政運営について

**問** 10月から始まるコンビニ交付サービスは、どのような利便性向上につながるのか。

**答** マイナンバーカード利用により、身近なコンビニ等で午前6時30分から午後11時まで住民票の写し等の取得が可能となる。

### 蒲郡市政クラブ代表 新実 祥悟

### 三河港湾計画改訂の状況について

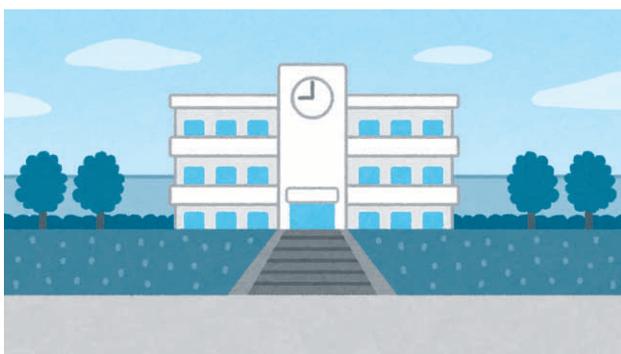
**問** 蒲郡ふ頭11号岸壁の埋立状況について伺う。

**答** 岸壁は現在30mの延伸工事を施工中である。背後地の埋立箇所は、残り1・8haが令和3年度にアスファルト舗装工事が完了予定で、今後100mの岸壁延伸部分の背後の埋立工事計画も県から伺っている。

### 小中学校等のグラウンドデザインの現実的な対応

**問** 塩津と西浦地区の実際の工事時期を伺う。

**答** 時期や期間は決まっていないが、着工前には国の補助のための調査や協議、施設活用方法を地元と連携し協議、調整して実施設計に移行する必要がある。なるべく早く工事着手できるように確認作業や手続を早急に進めていきたい。



### 尾崎広道（自由クラブ）

新型コロナウイルス感染症を完治した方について

**問** 市長から事業所や個人に労いの言葉をかけるべきと思うかがか。

**答** クラスターが発生した施設では利用者や職員の方、医療に関わる皆様の努力と協力により終息につながった。感謝をしている。

### 狭隘道路について

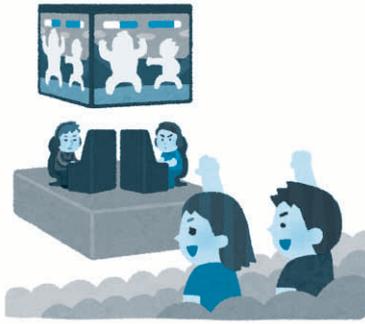
**問** 建築基準法第42条第2項は、建物が建つ敷地しか該当しないと思うが。

**答** 建築を行わない敷地は法の適用を受けない。

小中学校避難バルコニーと廊下の間の扉の施錠は

**問** 避難する方向の扉に鍵が掛かっている学校がある。カバー付サムターン錠に変えるべきではないか。

**答** 様々な火災状況を想定し避難方法で対応する。



鈴木将浩 (自民党市議員)

まちづくりにおける  
eスポーツの活用について

**問** 福祉現場では、認知症予防や世代間交流等でも活用しやすいという声がある。市の検討を伺う。

**答** 令和3年度に寿楽荘で計画する介護予防教室で、簡単なゲーム等も取り入れてみたい。多世代間交流では高齢者も受け入れやすい活用方法を研究したい。教育現場では不登校対策や障害児支援等で効果が出ている事例があるが、

市も検討してはどうか。

**答** 有効な事例等を情報収集し、研究したい。

**問** 商店街の空き店舗や公民館等でeスポーツやゲーム等のイベントを開催し、若者等の新しい層をコミュニティに引き込む仕掛けとしてはどうか。

**答** 有力な課題解決手法の1つだが、理解の隔たりや依存による弊害等も懸念され、慎重に判断をしていく必要があると考える。

鎌田篤司 (市政クラブ)

コロナ禍における  
市民病院の経営について

**問** オンライン面会の現状と今後について伺う。

**答** 1月下旬から試験的に実施してきた。今後は対象病棟を全病棟に広げていく。

生命の海科学館について

**問** JAXAの小惑星探査機「はやぶさ2」等研究機関との連携は。

**答** 帰還カプセルの巡回展示など連携可能なものには手を挙げていきたい。今後の動向を注視したい。

モーターボート競走事業  
について

**問** SGグランプリの開催について伺う。

**答** 開催には老朽化した施設の整備が不可欠である。環境や条件が整った際には誘致を行っていきたい。

喚田孝博 (自民党市議員)

蒲郡駅北地区の再開発  
について

**問** 事業概要を伺う。また駅前保育や図書館、市民交流センター等公共施設の配置を検討してはどうか。

**答** 事業計画区域は、駅北ビル、蒲郡名店街ビル、トータルビル及び大和ビルの4棟を含む0.3haである。事業期間は、令和3年度に調査設計計画を始め、7年度に完了予定であり、公共施設の配置については、正確な権利分の床面積が確定後、検討していきたい。

特別支援教育について

**問** 特別支援学校の設置についての考えは。

**答** 設置に向けては、設置場所、人的配置、予算確保、県の義務教育課と高校との調整等課題は多くあるものと認識しているが、調査研究していきたい。

柴田安彦 (無会派)

蒲南土地区画整理地内の  
相続税について

**問** 仮換地の指定時には、清算金額が算定されておらず、土地の過渡し面積も個別に通知されていない。

**答** そのため、過渡しがあった土地を相続した方は、相続財産の評価が清算金分だけ差が出てしまい、相続税を納め過ぎていくケースがあるのではないかと。

**問** 過渡し等の面積については、第1工区は昭和45年、第2工区は52年に換地計画の供覧を行った際に説明している。

なお、相続が発生したときに確定していない清算金は評価ができないため、相続税を納め過ぎていくかどうかは把握できない。税務署からは、清算金の確定後に個別に相談をしてほしいと聞いている。問合せがあれば市でも分かる範囲で答え、こうしたことが相続時に起こりうることも伝えたい。

鈴木貴晶（自由クラブ）

市民病院の看護師確保と  
定着促進について

**問** 看護師確保と定着促進のため、地域手当等の支給について市の考えは。

**答** 国の支給基準を踏まえ、医師以外の職員は地域手当の支給対象としていない。地域手当に代わる手当の支給については、他市の事例を参考にし、処遇改善を研究・検討していきたい。

給食について

**問** 食材費の削減や、バラエティに富んだ給食の提供のため、新規納入業者を積極的に受け入れるなど、



取引の見直しの検討について市の考えを伺う。

**答** ホームページにおいて、条件など具体的な内容を掲載して新規業者が参入しやすい環境を作っていく。また、参入希望の業者には、学校給食会にて前向きに対応していく。

鈴木基夫（自由クラブ）

先端医療都市構想  
について

**問** 市民の健康づくりのための環境整備には企業との連携が重要と考えるが、健康寿命の延伸に向けては、従来の健康づくり政策に加えて、今後求められる予防医療や重症化予防などの取組に対して企業が産業として参入できる体制づくりが課題であると認識している。

**答** 「再生医療のまち」の推進に向け関連企業の支援として国家戦略特区制度などの活用を検討してはどうか。また、産学官連携、市民病院の役割などを踏まえてヘルスケア計画を練り

直し、計画の推進を図るべきではないか。

**答** 特区申請には関係機関との協議が必要であり、その中で必要に応じてヘルスケア計画の改訂を含めた検討をしていく必要がある。市独自の強みを活かした取組を検討していきたい。

牧野泰広（自由クラブ）

サーキュラーシティ構想  
について

**問** サーキュラーエコノミー（循環経済）の考え方や取組について、市民に対し、講演会等による啓蒙活動を行う考えは。

**答** 環境に配慮した考え方の広がりや環境課題の解決には、行政だけではなく、市民や事業者の理解や行動をしていただく必要がある。今まで以上に、講演会等の環境学習や情報発信等により周知・啓蒙を図っていききたい。

他の自治体が推進する前に、サーキュラーシティ宣言をし、構想を作成していくべきではないか。

青山義明（自民党市議団）

企業用地について

**問** 浜町仮設ソフトボール場跡地についてコロナ禍における需要への影響について伺う。

企業用地について

**答** 廃棄物をなくすというサーキュラーエコノミーの取組は非常に重要な考え方である。市民だけでなく、産業界や教育にもそうした考え方を勉強してもらう取組を進め、構想ではないが、計画に移すようにしていきたい。



市が把握している限りでは、特段変化はない。

蒲郡緑地について

**問** 利用者が少ない。他の用途での活用は可能か。  
**答** 港湾計画に緑地として位置づけられており、それ以外の用途での利用は難しいと県から伺っている。

災害時拠点について

**問** 災害時の拠点について、市の考えを伺う。



**答** 地域強靱化計画策定後、防災体制の機能を確認し、その中で拠点として望ましい場所の要件について整理していく。

**日恵野佳代** (無党派・日本共産党)

コロナ禍で市民の暮らしを支援するために

**問** 新型コロナウイルス感染症対策として、市内旅館・ホテル利用券等が65歳以上に配布された。ホテル等の経営者からはまたやっつけほしいという声がある。継続を検討してはどうか。

**答** 旅館、ホテルの経営者との懇談では、改めて検討すると答えている。

**公共施設の統廃合の考えを改めるべき**

**問** 公共施設の統廃合によって、保育園、小中学校、公民館も減っていく。歩いていけること、また、避難所感染対策で密にならないことも大事である。小規模・分散型の避難所を確保するべきと考える。市の

対策を伺う。

**答** 防災体制の機能を確認した上で、避難所の確保の考え方についても検討したい。

**藤田裕喜** (市政クラブ)

スマホ等のデジタル機器と子育てをめぐって

**問** 乳幼児がスマホ等に触れることについて、どのような健康上のリスクがあるか。

**答** 使い方によって視力低下や視力障害、愛着不足や言葉の遅れ、情緒不安定、スマホ依存等、健康や発達への影響が考えられる。

**問** 市の子育て教室では、スマホと子育てに関する情報提供等を行っているか。

**答** 1歳児教室ではリーフレットにてスマホ等のメディアの注意喚起を行い、2歳児教室では親子遊びの大切さを伝えている。

**問** 市のホームページに、スマホと子育てをめぐる問題について、保護者向けの情報提供や注意喚起の記事を掲載しては。

**答** 今後は、スマホ等が与える健康への影響や使い方、親子の触れ合いの大切さ等をホームページにおいても伝えていきたい。

**大須賀林** (自民党市議団)

**水道事業について**

**問** 今後の水道管路の老朽化対策と耐震化に対する市の方針について伺う。

**答** 各計画に基づき、毎年実施している。新しく布設する水道管は耐震管を採用し、老朽化対策と耐震化を同時に進めている。

**問** 電気自動車の市民への啓発、普及を図るには、市が率先して電気自動車等を導入し、市民に対して普及促進を図りたい。

**答** 充電施設の設置も進めるべきと考えるが、市役所本庁舎に設置する予定はないか。

**問** 現段階で設置の予定はない。ゼロカーボンシティを宣言したことから、今後設置するか研究していきたい。

**カーボンニュートラル推進に係る市の取組は**



**竹内滋泰** (自民党市議団)

**新型コロナウイルス感染症対策の検証と今後**

**問** 国・県・市合わせて財政出動した総額は。

**答** 3月定例会までの予算総額は約134億1800万円、執行率は令和2年12月補正までの予算べ

**問** コロナ禍の収束には時間がかかる。様々な支援が必要となるが、どのように財源を確保するのか。

**答** 新型コロナウイルス感染症対策基金が不足の際は、モーターボート競走事業会計の利益剰余金等を財源に積み立てていきたい。

**問** 緊急市民アンケートの結果をどのように接種計画に反映させるのか。

**答** 3024件回答があり、「すぐに接種したい」、「様子を見てから接種したい」との回答が約90%に上った。医師会や市民病院との連携を密にし、体制づくりの確保に努めていく。

# 令和3年度一般会計予算 などを議決

1月臨時会  
3月定例会

議案

1月市議会臨時会は、1月22日に1日の会期で開き議案1件を審議しました。  
3月市議会定例会は、3月2日から23日までの22日間の会期で開き、議案32件を審議しました。

令和3年度一般会計予算など、その主な内容をお知らせします。

## 1月臨時会

臨時会は、必要のあるとき、特定の事件に限り、これを審議するために招集される議会です。

1月臨時会は、新型コロナウイルス感染症が社会全体で流行するのを防ぐため、国においてワクチン接種の準備が進められており、ワクチン接種に係る事業費を予算計上する必要があるため招集されました。

この補正予算議案は全会一致で可決されました。

## 3月定例会

### 予算審査 特別委員会から

3月2日の本会議で、正副議長を除く18人の委員で構成する予算審査特別委員会（委員長 喚田孝博、副委員長 大須賀林）が設置されました。委員会では、3月15日、16日、17日、18日の4日間にわたり、令和3年度一般会計予算など12会計予算を慎重に審査し、全会計の予算を可決すべき

ものと決しました。

○一般会計予算

□歳出

●総務費

### おくやみ窓口システム 導入事業

**問** システムの導入で具体的に何が変わり、どのよう

**答** 死亡手続は関係課が多

岐にわたり、現在の総合窓口サービスのシステムでは把握できないものがあり、

遺族が担当課に直接確認し

なければならぬこともあ

る。この導入で遺族の来庁時に案内しなければならぬ

い手続を市民課で集約・一元化でき、的確な案内が可能となる。様子を電子化し

システムの導入で死亡者の住所・氏名等の基本的な記

入事項を減らすことができ、書く手間と待ち時間の短縮

等遺族の負担が軽減される。

●民生費

### 子ども食堂事業

**問** 市内で子ども食堂を開

**答** 三谷地区の子供限定の

NOCO、Sキッチンと居

住地域を限定しない子ども食堂ファミリアの2箇所ある。

**問** 市子ども食堂補助金は、県が行なっている補助

**答** 金と何が違うのか。

**問** 県子ども食堂推進事

**答** 業費補助金は、開設のための施設改修や備品購入、学

習のための書籍購入等を対象としており、市は、子

ども食堂の運営等に係る経費の一部を補助しているため、

**問** 今後開設予定はあるか。

**答** 更生保護女性会が開設を予定していると聞いているが、具体的な時期は分からない。

●衛生費

### 40歳のセットがん検診事業

**問** 事業を創設した経緯は。

**答** 40歳になると各種がん検診が受診できるようになるが、40歳の方の受診率は他の年代に比べて非常に低いという状況がある。がんの死亡を減らすには、早くからがん検診を受診していただく必要がある、働く世代が受診しやすいよう受診日を日曜にしたり、セットで手軽に受診出来るような受診機会の環境整備ということに創設した。

**問** ワンコインがん検診との違いは。

**答** ワンコインがん検診とは、

受診機会の環境整備という

ことで創設した。

**問** ワンコインがん検診との違いは。

**答** ワンコインがん検診とは、

受診機会の環境整備という

ことで創設した。

**問** ワンコインがん検診との違いは。

**答** ワンコインがん検診とは、

受診機会の環境整備という

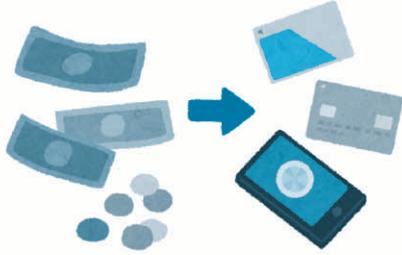
ことで創設した。

**問** ワンコインがん検診との違いは。

## 3月定例会の日程

《3月》

- 2日 本会議〔会期の決定、諸般の報告、予算大綱説明、議案説明など〕  
予算審査特別委員会
- 5日 本会議〔一般質問〕
- 8日 本会議〔一般質問〕
- 9日 本会議〔一般質問〕
- 10日 総務委員会
- 11日 議会運営委員会理事会  
議会運営委員会  
経済委員会
- 12日 文教委員会
- 15日 予算審査特別委員会
- 16日 予算審査特別委員会
- 17日 予算審査特別委員会
- 18日 予算審査特別委員会  
議会運営委員会理事会  
議会運営委員会
- 23日 本会議〔委員長報告、議案説明  
質疑、討論、採決など〕



**答** ワンコインがん検診は、医療機関で各種がん検診をそれぞれ個別に受診するが、40歳のセットがん検診は、保健医療センターでセットで受診できる。

●**商工費**

**キャッシュレス決済促進事業**

**問** 事業内容について何う。

**答** 利用者側と事業者側の双方向に対するキャッシュレス決済導入施策の実施により、市内のキャッシュレス決済促進を図る。利用者側の施策として、市内の決済導入事業者で利用者が決済した場合、決済ポイント付与するポイント還元キャンペーンと利用者が決済利用しやすくするためのセ

ミナーを行う。事業者側の施策として、決済利用に要した決済手数料への補助、決済導入をしやすくするための端末導入補助、決済にかかる事業者のサポート事業を行う。

●**消防費**

**西部出張所移転建設事業**

**問** 農業振興地域かつ圃場整備地内での建設予定であるため、隣接農地への日影の影響が心配されている。実施設計の前に日影図を作成し、隣接農地関係者へ説明する予定は。

**答** 日影図を作成することは可能であり、近隣への説明が必要であると考える。説明等の準備が整い次第、順次対応していきたい。

**問** 同一設計者によって造成計画と建設計画の検討を行い、隣接農地への影響や、利用しやすい消防署を検討すること等が必要と考える。工事費の軽減も大きく可能と考えるがいかかか。

**答** 別で発注する予定であるが、それぞれの知見・特長を生かし、関係各課とも調整を図っていききたい。

○**水道事業会計**

年度末給水栓数は、3万4578栓、1日平均給水量2万5808m<sup>3</sup>を予定しており、収益的収支は1億3670万円の黒字予算です。

○**下水道事業会計**

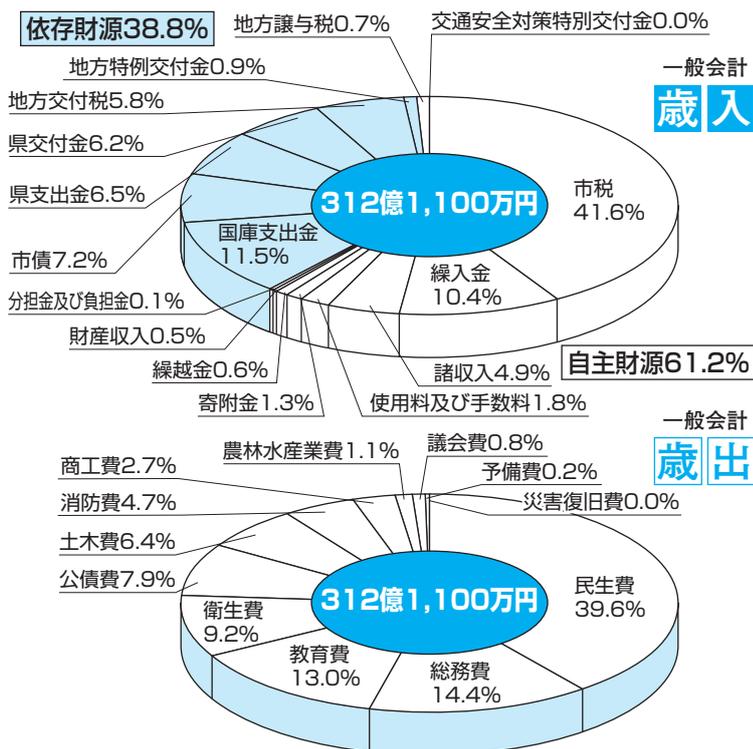
処理区域面積は1216ha、処理区域内人口は5万3205人、年間有収水量は586万m<sup>3</sup>を予定しており、収益的収支は6160万円の赤字予算です。

○**病院事業会計**

1日平均入院患者数を300人、外来は700人と見込み、収益的収支は5億1610万円の赤字予算です。収益的収入と資本的収入で合計16億円をモーターボート競走事業会計から繰り入れます。

○**モーターボート競走事業会計**

年間192日の開催を予定し、収益的収支は100億3890万円の黒字予算です。この会計から土地区画整理事業特別会計に8億3千万円、下水道事業会計に6億円、病院事業会計に16億円を支出します。



■ **令和3年度予算**

(単位：万円)

会計別	予算額	前年度比
一般会計	312億1,100	3.9%増
特別会計	国民健康保険事業	70億4,070 (2.0%減)
	後期高齢者医療事業	23億5,300 (3.4%増)
	土地区画整理事業	14億680 (32.2%減)
	企業用地造成事業	2億4,740 (77.7%減)
	公共用地対策事業	6億2,560 (159.2%増)
	三谷町財産区	2,680 (28.5%減)
	西浦町財産区	1,360 (3.8%増)
小計	117億1,390 (9.5%減)	
企業会計	水道事業	収益的 18億5,030 (0.2%増)
		資本的 14億2,730 (3.7%減)
	下水道事業	収益的 25億9,720 (7.8%増)
		資本的 24億4,720 (4.4%増)
	病院事業	収益的 95億6,170 (4.9%増)
	資本的 10億2,880 (46.1%減)	
モーターボート競走事業	収益的	1,586億6,100 (40.2%増)
	資本的	23億8,180 (50.2%増)
小計	1,799億5,530 (34.5%増)	
合計	2,228億8,020 (26.1%増)	

その他の議案

●教育委員会教育長の任命

(第8号議案)

教育長壁谷幹朗氏の任期が令和3年3月31日に満了することに伴い、同氏を引き続き教育長に任命することに同意しました。なお、

任期は3年です。  
●副市長の選任

(第31号議案)

副市長井澤勝明氏が令和3年3月31日に退職することに伴い、大原義文氏を副市長に選任することに同意しました。なお、任期は4年です。

●市議会委員会条例の一部改正

(議員提出第1号議案)

機構改革に伴い常任委員会の所管事項を改正します。

●市議会会議規則の一部改正

(議員提出第2号議案)

女性をはじめとする多様な人材の市議会への参画を促進する環境整備を図るため、会議への欠席及び遅刻に関する規定の一部を改正するとともに、請願に係る署名押印を見直し、手続の簡素化を図るため、請願書の記載事項等に関する規定の一部を改正します。

■陳情

○ゼロカーボン達成に向けた取組みの推進に関する陳情書

提出者 榊原 平  
審査結果 聞きおく

■3月定例会で議決された令和2年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の予算額
一般会計 (第11号)	新型コロナウイルス感染症対策基金積立金 1,005万2千円	8億6,664万円	461億8,898万円
	障害福祉サービス費 1億2,000万円		
	障害者自立支援給付費等国庫負担金等返還金 1,609万2千円		
	生活保護費等国庫負担金等返還金 1億1,846万1千円		
	大久古池老朽対策事業費 735万円		
	新型コロナウイルス感染症対策事業費 農業者支援金追加交付事業費 1,003万9千円 漁業者支援金追加交付事業費 401万5千円 中小企業等支援金追加交付事業費 1億2,526万7千円 専門アドバイザー支援事業費補助金 300万円 新型コロナウイルス感染症対策整備費補助金 8,014万円		
	市道中央本町竹谷宮前1号線舗装補修工事費 4,300万円		
	市道五井西郷橋詰1号線新設事業費 9,500万円		
	学校施設維持管理委託料 小学校費 747万5千円 中学校費 602万5千円		
	大型提示装置設置委託料 小学校費 1億4,630万円 中学校費 7,370万円		
	トイレ改修工事費 小学校費 7,626万5千円 中学校費 5,033万6千円		
	特別教室空調設備実施設計委託料 小学校費 752万9千円 中学校費 450万3千円		
	債務負担行為 事項：市民体育センター等指定管理料 期間：令和3年度 限度額：508万2千円		
	土地区画整理事業特別会計 (第1号)		
繰越明許費(蒲南土地区画整理事業) 7,675万8千円			
繰越明許費(中部土地区画整理事業) 3,507万4千円			
企業用地造成事業特別会計 (第1号)	繰越明許費(事業損失事後調査委託事業) 800万円	—	11億1,170万円
下水道事業会計 (第1号)	資本的支出 テレスコープ弁更新工事費 2,600万円	2,600万円	23億6,990万円
病院事業会計 (第4号)	財源補正・収益的収入 入院収益 △6億5,815万4千円 県費補助金 7億5,000万円	9,184万6千円	92億4,254万6千円
	財源補正・資本的収入 他会計出資金 △1億2,000万円 県補助金 1億円	△2,000万円	15億8,710万円

■ 全会一致で可決・同意・承認した議案 (○内の数字は議案番号)

- ②部等設置条例の一部改正
- ③押印を求める手続の見直し等のための関係条例の整備に関する条例の制定
- ④市道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正
- ⑤新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- ⑥病院事業の設置等に関する条例の一部改正
- ⑦野外運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
- ⑧教育委員会教育長の任命
- ⑨固定資産評価審査委員会委員の選任
- ⑩市道の路線認定及び廃止
- ⑬令和3年度公共用地対策事業特別会計予算
- ⑭令和3年度三谷町財産区特別会計予算
- ⑮令和3年度西浦町財産区特別会計予算
- ⑯令和3年度水道事業会計予算
- ⑰令和3年度下水道事業会計予算
- ⑱令和3年度病院事業会計予算
- ⑳令和2年度一般会計補正予算(第11号)
- ㉑令和2年度土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
- ㉒令和2年度企業用地造成事業特別会計補正予算(第1号)
- ㉓令和2年度下水道事業会計補正予算(第1号)
- ㉔令和2年度病院事業会計補正予算(第4号)
- ㉕専決処分の承認(令和2年度一般会計補正予算(専決第4号))
- ㉖消防団条例の一部改正
- ㉗母子家庭等医療費助成条例の一部改正
- ㉘副市長の選任
- 議員提出①市議会委員会条例の一部改正
- 議員提出②市議会会議規則の一部改正

■ 賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議案番号	議案名	自由民主党 蒲郡市議団					蒲郡自由クラブ					公明党 蒲郡市議団		蒲郡 市政クラブ		無党派					
		大向 正義	大場 康議	大須賀 林	喚田 孝博	鈴木 将浩	青山 義明	竹内 滋泰	尾崎 広道	鈴木 基夫	鈴木 貴晶	稲吉 郭哲	牧野 泰広	伊藤 勝美	大竹 利信	松本 昌成	新実 祥悟	鎌田 篤司	藤田 裕喜	日恵野 佳代	柴田 安彦
11	令和3年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	●	●
12	令和3年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○
13	令和3年度後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○
14	令和3年度土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○
15	令和3年度企業用地造成事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○
22	令和3年度モーターボート競走事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○

※大竹利信議員は議長職により採決には参加していません。

### 東三河広域連合議会

2月9日、10日に東三河広域連合議会2月定例会が豊橋市議会議事堂で行われました。今定例会では、令和3年度一般会計予算や条例案等計8議案を可決・同意しました。また、一般質問では蒲郡市選出の喚田孝博議員が東三河広域連合の取組について質問しました。

### 5月臨時会・6月定例会予定

5月市議会臨時会は、5月13日(木)に、6月市議会定例会は6月11日(金)に開会する予定です。詳しい日程は、議会事務局へお問い合わせください。

## 議会日誌

12月17日から3月23日

#### 1月

- 13日 議会運営委員会理事会
- 15日 1月臨時会招集告示
- 18日 議会運営委員会
- 22日 1月臨時会

#### 2月

- 3日 議会運営委員会理事会
- 18日 議会運営委員会理事会
- 22日 3月定例会招集告示  
議会運営委員会理事会  
議案説明会  
当初予算説明会
- 26日 議会運営委員会  
議会運営委員会理事会

#### 3月

- 2日～23日 3月定例会
- 23日 議会だより編集委員会  
議会運営委員会理事会

問い合わせください。

なお、本会議の日程と一般質問の内容は、決まり次第、市議会のホームページに掲載します。

本会議の傍聴を希望される方は会議当日、市役所新館7階の議会事務局で手続きをしてください。

### 議会だよりは点字版、テープ版・CD版も発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、テープ版・CD版は、音訳グループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

また、議会だよりは蒲郡駅(観光交流センターナビテラス)、市民病院、市立図書館にも置いてあります。



こちら編集委員会  
66-1169

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため発出された緊急事態宣言が全面解除となり、陽気もよく、咲く花に誘われるかのように週末になると、各地で人出が増加しています。それとともに収まったかに見えた新型コロナウイルスの感染者数も増加に転じており、新型コロナウイルスの感染は第4波に入ったとも報じられているところです。この地方でも新聞で毎日新規感染者数が報じられています。本市では新規感染者がない日も多いですが、油断することはできません。5月からは65歳以上の方のワクチン接種が予定されており、このまま新規の感染者を増やさないことが、スムーズな接種につながりますので、今一度気を引き締めて、密閉、密集、密接の三密の回避に努めてまいりましょう。

3月定例会では各会派による代表質問と個人質問があり、活発な議論が交わされました。

令和3年度予算は、蒲郡市民憲章三つの誓いを具現化すべく、思いの詰まったものになりました。これが市民にとって幸せを実感できる、希望が持てるものとなるよう、適正に執行され、目的どおりの効果が出ているかチェックしてまいります。

## 今月の表紙 南海トラフ地震から身を守る

南海トラフ地震は今後30年のうちに70～80%の確率で起こると予想されています。「南海トラフ地震臨時情報」を知っていただくことは、自分や大切な人の命を守ることに繋がります。

「南海トラフ地震臨時情報」は、巨大地震が発生する可能性が普段と比べて高まった場合に、気象庁から発表されます。

異常な現象が発生後、5～30分後に、調査を開始した旨の「調査中」情報が発表され、最短2時間後に、有識者の評価をふまえた情報が発表されます。その際、下記のキーワードにご注意ください。

「巨大地震警戒」は、発表から2週間、後発地震に備えた対応を取ることが必要となります。家具の固定や、避難場所の確認、避難用持ち出し袋の準備等、日頃からの備えを再確認してください。

「巨大地震注意」は、発表から1週間、後発地震への備えの再確認が必要です。プレートの「ゆっくりすべり」が観測された場合は、異常なプレートの動きが収まったと評価されるまで備えが必要です。

南海トラフ地震臨時情報は、防災行政無線、防災ラジオ、安心ひろめーる、テレビ等で周知されます。また、市からの情報提供にもご注意ください。

【問い合わせ先】危機管理課 66-1208